

千葉市立病院改革プラン (第3期:平成27～29年度)の進捗状況について

千葉市立病院改革プラン (第3期:平成27～29年度)について

【病院局の使命】

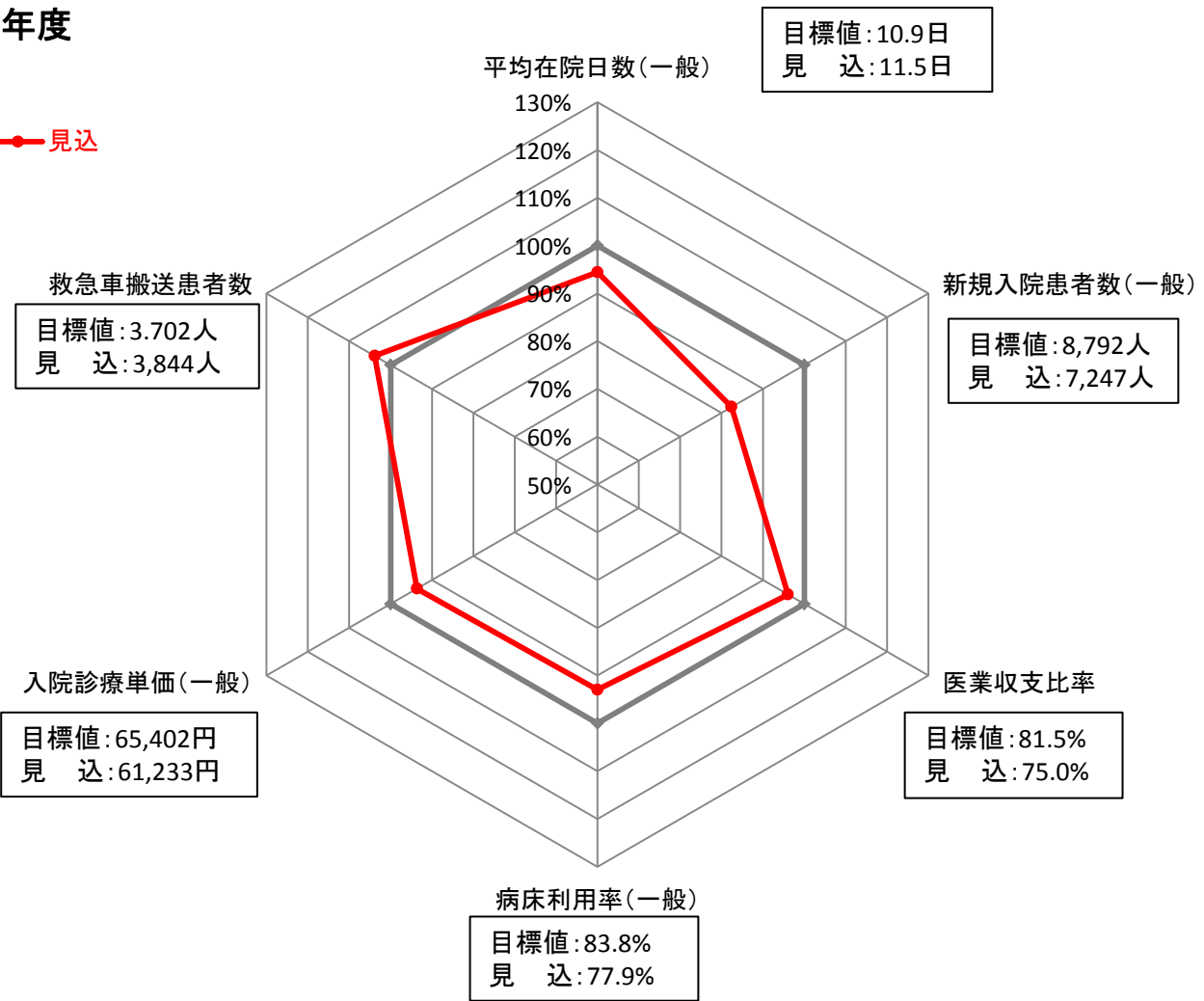
- 1 市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。
- 2 健全な病院経営を確立し、市立病院を持続発展させる。

【基本方針】

- ・現改革プラン(新改革プラン)にて掲げた「病院局の使命」を引継ぐ。
- ・自治体病院としての使命・役割を理解し、市民から期待される役割を自ら考えることのできる職員の育成を目指し、人材育成を強化する。
- ・現改革プランの評価を踏まえ、経営改善を強力に推進し、医業収支比率90%以上を目指す。

平成27年度

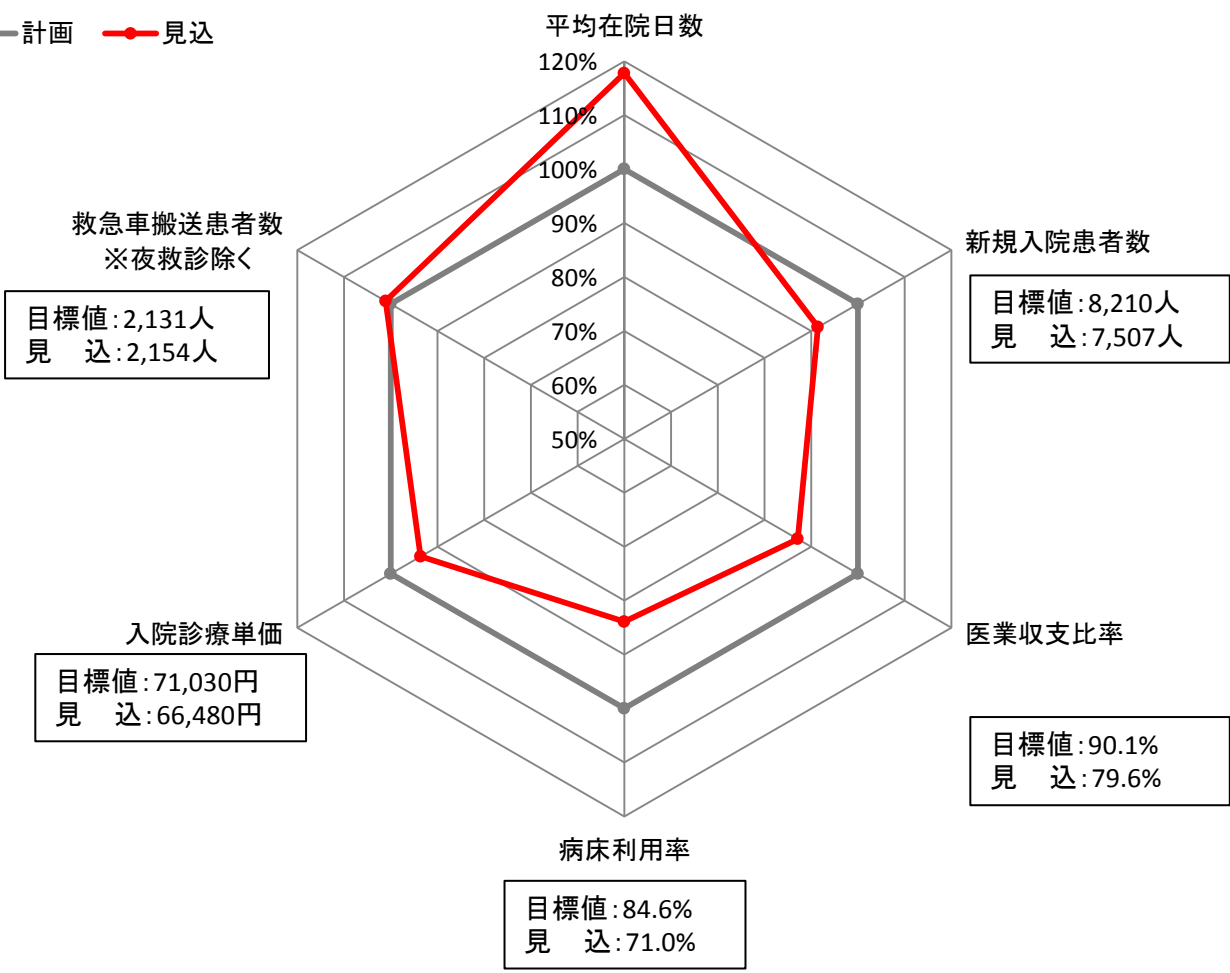
計画 見込



平成27年度

目標値: 10.8日
見 込: 8.9日

計画 見込



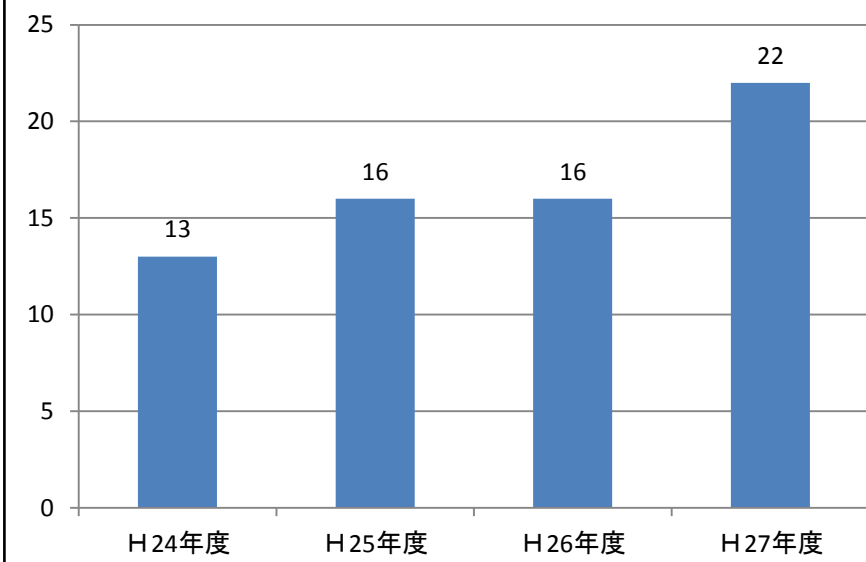
結果の見方

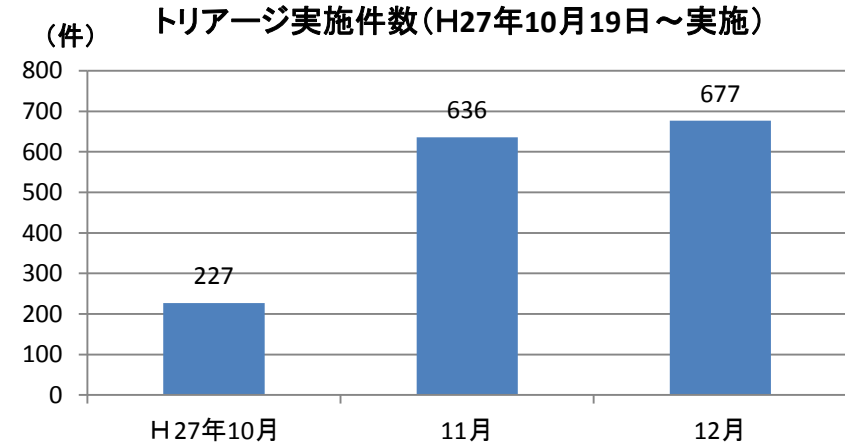
◎：計画通りに進捗している ○：おおむね計画通りに進捗している
△：一部着手した ×：着手できなかった

取組項目	進捗状況	結 果												
ア どのような患者さんにも対応できる診療体制の確立														
青葉病院での治療を必要とする患者に対して、患者に寄り添った診療と治療を行う体制を確立するため、常勤医師が不在の眼科、耳鼻いんこう科、脳神経外科、放射線科の常勤医師を確保する。	千葉大学医学部附属病院に働きかけを行うなど、医師の確保に努めているものの、いずれの診療科においても、常勤医師を確保できていない。（0人）	×												
イ 救急医療の充実														
専門的治療や入院治療が必要な患者を積極的に受け入れ、「千葉市救急医療の最後の砦」としての役割を果たすため、各診療科が救急部門を積極的にバックアップする。	救急部で受け入れた患者について、入院加療が必要と判断した場合は、翌日には、適切な専門診療科に引き継ぐこととしている。 救急患者数 <table border="1"><thead><tr><th>期間</th><th>H 26年度</th><th>H 27年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>4～6月</td><td>844</td><td>958</td></tr><tr><td>7～9月</td><td>864</td><td>983</td></tr><tr><td>10～12月</td><td>883</td><td>924</td></tr></tbody></table>	期間	H 26年度	H 27年度	4～6月	844	958	7～9月	864	983	10～12月	883	924	○
期間	H 26年度	H 27年度												
4～6月	844	958												
7～9月	864	983												
10～12月	883	924												

救急医療の充実に不可欠である脳神経外科の常勤医師を確保する。	千葉大学医学部附属病院に働きかけを行うなど、医師の確保に努めているものの、常勤医師を確保できていない。（0人）	×
ウ 特色ある診療科のさらなる充実		
リウマチ科と糖尿病代謝内科の医師の増員	平成27年4月から医師を1人ずつ確保し、機能強化を図っている。 糖尿病代謝内科 H26.4：0人 → H27.4：1人 リウマチ科 H26.4：1人 → H27.4：2人	○
エ 地域医療への貢献		
地域医療支援病院の名称使用	平成27年5月に市保健所に申請書類を提出し、千葉県医療審議会における審議を受ける予定となっている。	○
院内の講演会や院外での出前講座による地域住民への情報提供	各種研修やカンファレンスを実施した。 今後も、自治会等から出前講座の申し込みがあれば、情報提供に努めていく。 （実施例） 平成27年6月 認知症対応力向上研修 （市内医療機関からも参加） 7月 祐光・葛城地区で出前講座実施 11月 在宅医療連携カンファレンス （在宅医療を行う診療所医師も参加）	○

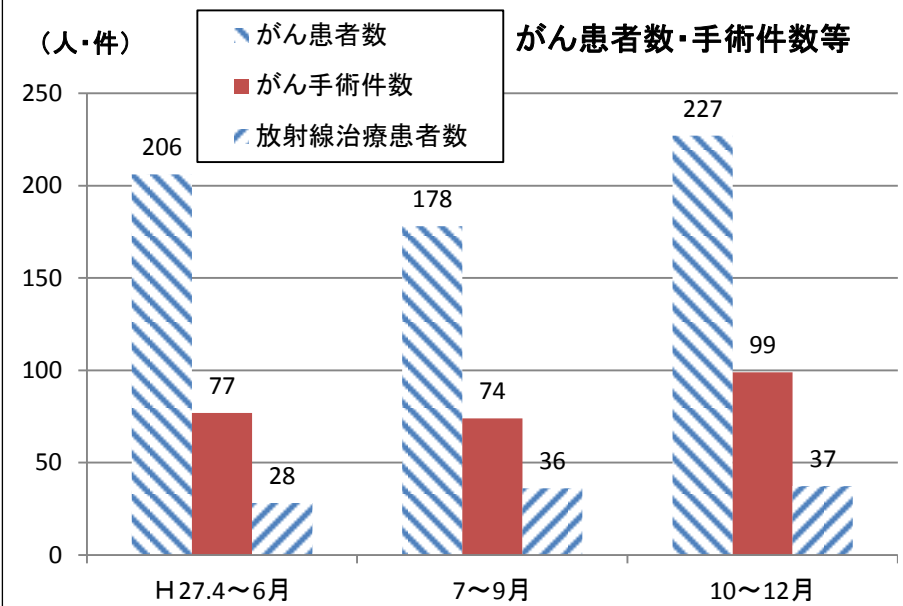
患者と職員の相互交流を進め、ボランティア活動の活性化に取り組む	従前から、市民ボランティア3人と協力し、患者案内、誘導、歩行困難者への補助を実施している。	△										
才 整形外科体制の運用方針の見直し												
海浜病院の手術室や病床を活用した整形外科の機能確保	青葉病院の医師を海浜病院へ派遣し、週1回外来診療を実施している。	△										
後期臨床研修医を含めた整形外科医の確保	千葉大学医学部附属病院に働きかけを行うなど、医師の確保に努めているものの、常勤医師を増員できていない。 (人) 青葉病院 整形外科医師数 <table><tr><th>年度</th><th>医師数(人)</th></tr><tr><td>H 24年度</td><td>13</td></tr><tr><td>H 25年度</td><td>12</td></tr><tr><td>H 26年度</td><td>11</td></tr><tr><td>H 27年度</td><td>11</td></tr></table>	年度	医師数(人)	H 24年度	13	H 25年度	12	H 26年度	11	H 27年度	11	×
年度	医師数(人)											
H 24年度	13											
H 25年度	12											
H 26年度	11											
H 27年度	11											

力 臨床検査部門の再編												
臨床検査技師を増員し、検査体制を強化する。	平成27年4月から増員を行い、検査体制の強化が図られている。 夜間救急患者の増加に伴う検査業務量の増加を踏まえ、臨床検査科の勤務体制を現在の宿日直体制から、二交替勤務体制に移行する予定である。 (人) 青葉病院 臨床検査技師数  <table><tr><th>年度</th><th>人数</th></tr><tr><td>H 24年度</td><td>13</td></tr><tr><td>H 25年度</td><td>16</td></tr><tr><td>H 26年度</td><td>16</td></tr><tr><td>H 27年度</td><td>22</td></tr></table>	年度	人数	H 24年度	13	H 25年度	16	H 26年度	16	H 27年度	22	
年度	人数											
H 24年度	13											
H 25年度	16											
H 26年度	16											
H 27年度	22											

ア 政策的医療及び市民に期待される医療の提供 周産期医療のための医師の確保や、緊急帝王切開（グレードA）への体制整備、さらに千葉大学医学部附属病院の総合周産期母子医療センターとの連携推進により、地域周産期母子医療センターの充実を図る。	医師の確保については、千葉大学医学部附属病院からの派遣や交流も含め協議している。 緊急帝王切開（グレードA）に対応するため、手術室を常時1室確保することとした。 千葉大学医学部附属病院の総合周産期母子医療センター開所（平成27年4月）に合わせて、診療内容の住み分けによる機能分担と連携を推進した。 母児救命・奇形への対応・・・千葉大学 早産への対応・・・海浜病院	△								
小児医療における地域の中核病院として、地域小児科センター機能の充実を図る。	地域小児科センターとしての診療体制強化に向けて、新たに医師を確保し、平成27年7月から「小児外科」を標榜した。 また、平成27年10月から、新たに小児ハイケアユニット4床を小児科病棟内に開設するとともに、夜間応急診療（小児科）において、小児トリアージを開始している。 （件） トリアージ実施件数（H27年10月19日～実施）  <table><tr><th>Month</th><th>Number of Cases</th></tr><tr><td>H27年10月</td><td>227</td></tr><tr><td>11月</td><td>636</td></tr><tr><td>12月</td><td>677</td></tr></table>	Month	Number of Cases	H27年10月	227	11月	636	12月	677	○
Month	Number of Cases									
H27年10月	227									
11月	636									
12月	677									

がん手術症例やがん入院患者、放射線治療患者の増など、がん診療連携協力病院としての機能強化を図る。

平成26年4月から放射線治療を開始するなど、がん診療への積極的な対応を図った結果、手術症例や入院患者数は増加傾向にある。
また、入院支援・退院支援などの様々な相談を受けるために、平成27年10月から開設した「患者相談支援センター」において、がん相談・支援を実施している。



整形外科入院機能の再開を図るため、整形外科常勤医師を確保する。

千葉大学医学部附属病院や青葉病院へ要請しているが、常勤医師を増員できていない。(0人)



呼吸器内科、糖尿病・代謝内科における常勤医師を確保するなど、内科機能の充実を図る。

千葉大学医学部附属病院へ常勤専門医の配置を要請しているが、確保(増員)できていない。(0人)



腹腔鏡手術の適用拡大や手術患者の増加など、婦人科機能の充実を図る。	平成27年12月に婦人科用腹腔鏡装置を導入、これまで3例の手術を実施した。 腹腔鏡手術の適用拡大に向けて、院内調整を図っている。	△												
診療機能の充実を図るため、総合内科・呼吸器外科を新設する。	千葉大学医学部附属病院に働きかけを行うなど、医師の確保に努めているものの、常勤医師を確保できていない。（0人）	×												
救急患者の受け入れ機能の強化を図る。	昨年度に比べて、救急患者数は微増である。 内科系夜間救急二次輪番の当番日を拡大（月あたり1日増）するなど、小児科も含め、救急患者の受入れに積極的に取り組んでいる。 （人） 救急患者数 <table><thead><tr><th>期間</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>4～6月</td><td>491</td><td>485</td></tr><tr><td>7～9月</td><td>560</td><td>586</td></tr><tr><td>10～12月</td><td>499</td><td>543</td></tr></tbody></table>	期間	H26年度	H27年度	4～6月	491	485	7～9月	560	586	10～12月	499	543	△
期間	H26年度	H27年度												
4～6月	491	485												
7～9月	560	586												
10～12月	499	543												
地域災害拠点病院としての機能強化 ・BCP（自院被災時の対応強化） ・災害拠点病院として備えるべき資機材の整備	災害対応職員用の食料・飲料水、トイレキットなどの備蓄を拡充したほか、衛星電話等のDMATの活動に必要な資機材を整備した。	○												

イ 安定的な経営基盤の強化		
地域前方連携機能の強化として、院内公開講座や出前講座、ホームページ掲載情報の充実、地域連携室の機能強化に取り組む。	・院内公開講座を3回開催したほか、診療所（16か所）への訪問・情報交換を実施するなど、連携機能の強化を図った。 ・ホームページをリニューアルし、診療体制を分かりやすく掲載するなど、見易さ・使いやすさの向上に努めた。 ・紹介患者の予約方法を、患者による電話予約に改めるなど、患者側の利便性の向上と、紹介元医療機関（医師）の負担軽減を図った。	○
戦略的経営を企画・実行できる体制を確保するため、経営マインドを持った人材を育成し、病院運営機能の強化を図る。	経営戦略の立案・実行に必要とされる組織体制や人材（資格・経験・人員数等）について検討を行っている。	△
在宅復帰を目指した医療を提供するため、地域連携を推進し、後方病床を確保する。	平成27年7月から、在宅療養支援医療機関への情報提供を実施し、現在5医療機関と連携している。 平成27年10月から患者相談支援センターを院内に開設し、がん相談支援に加え、在宅療養や入退院に関する各種相談に応じている。 また、地域の医療機関を重点的に訪問し、連携強化を図っている。	○
ウ 地域包括ケアシステムへの貢献		
地域包括ケアシステムに貢献するため、在宅療養後方支援病院の認定を取得し、在宅医療を後方から支援する。	平成27年4月から在宅療養後方支援病院の認定を取得し、在宅療養中の患者で入院が必要となった場合の受け入れ機能を確保するため、希望者の登録を開始した。登録患者は16人。 また、地域の医療機関を重点的に訪問し、連携強化を図っている。	○

ア 人材育成の取り組み強化																											
職員一人ひとりがその使命を理解し、期待される役割を自ら考え行動できるよう職員の意識改革を進め、経営マインドを持った人材を育成する。	外部研修を積極的に受講したほか、積極的な病院局のトピックや各部門の取り組み周知のため「カイゼンニュース」を毎月発行。	○																									
人材育成方針の見直しと医療専門職種ごとの人材育成計画の策定	人材育成計画策定のため、専門職種ごとのワーキングを設置し、検討実施。 平成27年度内に計画策定予定。	○																									
看護職の認定・専門看護師及び認定看護管理者の計画的育成	【青葉病院】 平成26年度…5分野（集中ケア、救急看護、緩和ケアなど） 平成27年度…7分野（増：糖尿病看護、認知症看護） 【海浜病院】 平成26年度…9分野（がん化学療法、小児救急看護、緩和ケア、糖尿病看護など） 平成27年度…10分野 （増：乳がん看護、摂食嚥下障害 減：手術看護） 認定看護師等の人数 <table><caption>認定看護師等の人数</caption><tr><th>年度</th><th>経営管理部</th><th>海浜病院</th><th>青葉病院</th><th>合計</th></tr><tr><td>H26年度</td><td>1</td><td>11</td><td>8</td><td>20</td></tr><tr><td>うち新規</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>H27年度(見込)</td><td>1</td><td>13</td><td>10</td><td>24</td></tr><tr><td>うち新規</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr></table>	年度	経営管理部	海浜病院	青葉病院	合計	H26年度	1	11	8	20	うち新規	0	3	1	4	H27年度(見込)	1	13	10	24	うち新規	0	3	2	5	○
年度	経営管理部	海浜病院	青葉病院	合計																							
H26年度	1	11	8	20																							
うち新規	0	3	1	4																							
H27年度(見込)	1	13	10	24																							
うち新規	0	3	2	5																							

看護職以外の認定・専門領域に関する教育プログラムの構築	教育プログラムを人材育成計画に盛り込むこととし、専門職種ごとのワーキングを設置し、検討実施。 平成27年度内に計画策定予定。	○									
専門知識を有する事務職の育成	庁内人材公募制度を活用し、病院局への配置を希望する事務職員の確保に努めている。 事務職プロパー職員の採用について、検討中。	△									
人材育成に関する研究や学会参加などを進めるため、研修費用を十分に確保する。	研究研修費 青葉病院 海浜病院 (千円) 60,000 50,000 40,000 30,000 20,000 10,000 0 H26年度 H27年度(見込) <table><thead><tr><th>年度</th><th>青葉病院</th><th>海浜病院</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26年度</td><td>46,345</td><td>40,642</td></tr><tr><td>H27年度(見込)</td><td>52,576</td><td>41,680</td></tr></tbody></table>	年度	青葉病院	海浜病院	H26年度	46,345	40,642	H27年度(見込)	52,576	41,680	○
年度	青葉病院	海浜病院									
H26年度	46,345	40,642									
H27年度(見込)	52,576	41,680									
イ 働きがいのある職場づくりへの取り組み											
主任級以下の医療技術職員・看護職員の査定昇給制度の拡大	平成26年度から医師を除く主任級以下の医療職等についての査定昇給制度を試行的に実施 平成27年度から本格施行。 (平成28年4月1日に給与に反映)	◎									

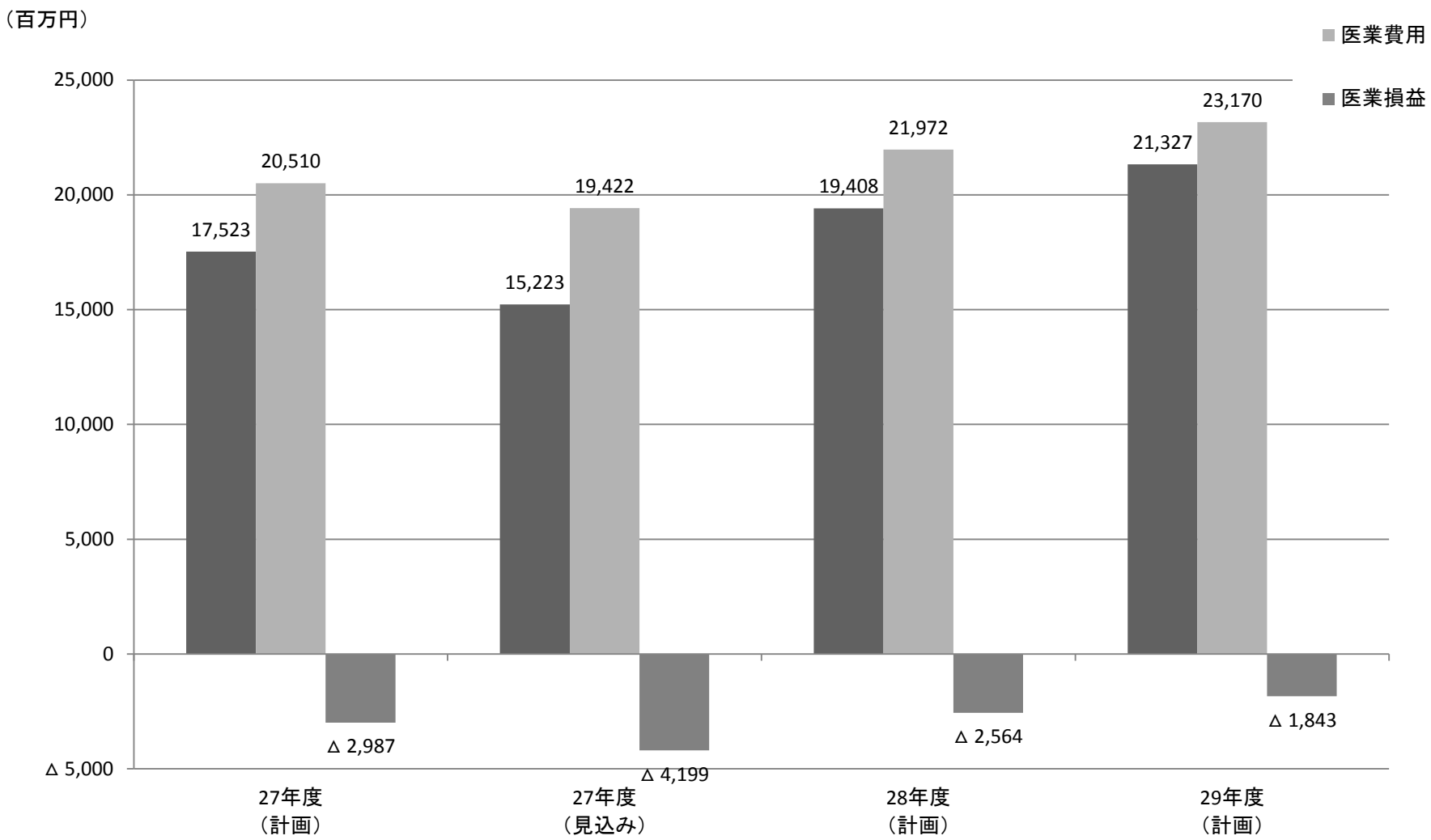
看護職員の勤務体制確立及び負担軽減策の実施	・看護職員の二交替・三交替の希望選択制を平成27年1月から施行。 ・看護職員の増員を図った。 H26.4：601人 → H27.4：644人（+43人） ・平成27年4月から院内保育所の利用日を拡充した。 昼間 月曜日～土曜日 → 365日 夜間 週2日 → 週3日	
ウ DPCデータの活用による経営分析の推進		
DPCデータ分析・検討のための人材確保や、分析～改善策検討までのPDCAサイクルの定着	【青葉病院】 医事専門員を委嘱し、DPCデータ分析、検討を進めている。 また、経営支援業務として、毎月、DPCコーディング検証を行い、診療情報管理士、入院レセプト担当で検討会を開催しているほか、平成26年度に実施したDPC個別症例分析の結果として、改善状況の検証を進めている。 【海浜病院】 DPCデータの解析や経営分析に必要な組織体制や人材について、知識や資格、人員数などについて検討、具体化を進めている。 また、DPC分析ソフトを導入し、医事担当職員及び診療情報管理士向けに、同ソフトの有効活用に向けた研修を実施した。 さらに、DPCデータの分析結果について、院内にて報告会を開催し、指摘された事項については、担当部門と改善に向けた調整・検証を行っている。	

エ 医療と介護の連携強化		
在宅療養後方支援病院の施設基準の取得（海浜病院）	【海浜病院】 地域包括ケアシステムに対応し、在宅療養中の患者で入院が必要となった場合の受け入れ機能を確保するため、平成27年4月から在宅療養後方支援病院の認定を取得した。 （青葉病院では、平成26年5月から認定取得済）	
地域の医療介護事業者への研修会の開催	【青葉病院】 地域の介護事業者向けの研修として、下記の実施 平成27年11月 あんしんケアセンターとの交流会を開催。 【海浜病院】 地域の介護事業者向けの研修は実施できていないものの、平成27年度は1月末までに、美浜連携の会や稲毛連携の会など、地域において開催された「地域医療連携」に関する会合等に計7回参加するなど、連携強化に向けて取り組んだ。	
オ システム統合に向けた取り組みと業務プロセスの標準化・共通化の推進		
システム次々期更新（H33）における両病院システム統一及びパッケージシステムの導入並びに両病院の業務プロセスの標準化・共通化	両病院の情報システムの統一化に向け、平成27年度は医事業務に係る現状分析業務に着手。 業務フロー図を作成し、主に情報システムを用いる業務の洗い出し、分析を実施。	

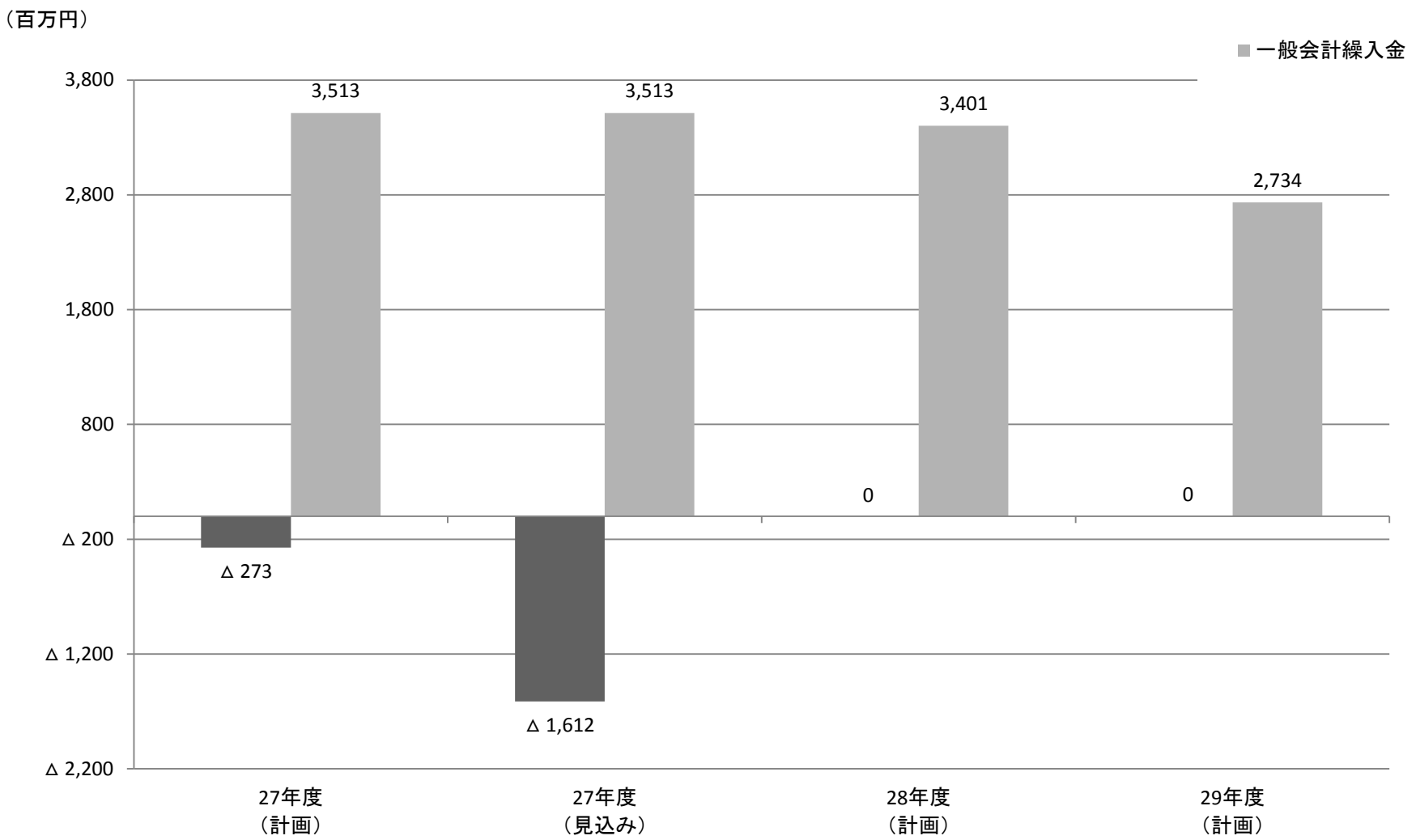
オ クリニカルパスの推進											
クリニカルパスを継続して推進	クリニカルパスの適用種類の拡大を図っている。 青葉病院 H26：138種類 → H27：148種類 海浜病院 H26： 73種類 → H27： 75種類 クリニカルパス実施件数 <table><thead><tr><th>病院</th><th>H26年度</th><th>H27年度 (見込み)</th></tr></thead><tbody><tr><td>青葉病院</td><td>2,261</td><td>2,700</td></tr><tr><td>海浜病院</td><td>2,214</td><td>2,425</td></tr></tbody></table>	病院	H26年度	H27年度 (見込み)	青葉病院	2,261	2,700	海浜病院	2,214	2,425	
病院	H26年度	H27年度 (見込み)									
青葉病院	2,261	2,700									
海浜病院	2,214	2,425									
カ 使用料等の見直し											
特別使用料や診断書などの料金について見直しを実施	他市の状況など情報収集を実施するとともに、料金見直し案を検討中。										

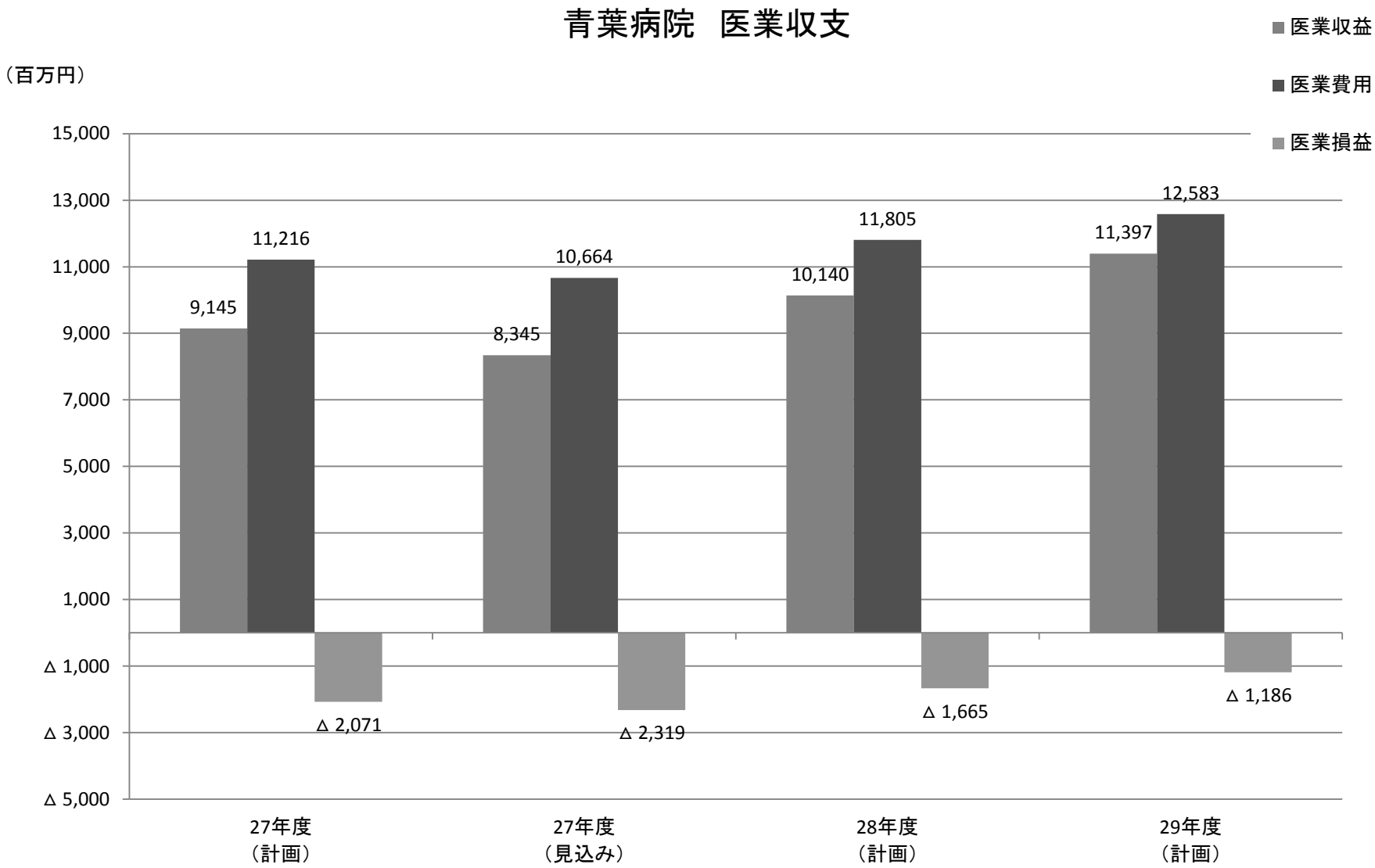
キ 支出の削減 ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品 使用割合 <table><tr><th>年度</th><th>青葉病院 (%)</th><th>海浜病院 (%)</th></tr><tr><td>H26年度</td><td>67.9%</td><td>66.6%</td></tr><tr><td>H27年度 (12月末時点)</td><td>80.2%</td><td>78.7%</td></tr></table>	年度	青葉病院 (%)	海浜病院 (%)	H26年度	67.9%	66.6%	H27年度 (12月末時点)	80.2%	78.7%	
年度	青葉病院 (%)	海浜病院 (%)									
H26年度	67.9%	66.6%									
H27年度 (12月末時点)	80.2%	78.7%									
両病院の診療材料の統一化及び近隣病院との連携	千葉大学医学部附属病院との共同購入を実施し、診療材料の統一化及び調達費用の削減を図った。 共同購入実施品目：ソフトキャップ、シリンジ、注射針 等 削減効果：約1,890万円（H26年度実績比）										
両病院の委託内容の共通化	病院の清掃・警備・設備運転管理などの施設維持管理業務委託について、両病院で一体的に実施し、費用の削減を図った。 期間：H28～H30 削減効果：約1億4,500万円/年（H27年度予算比）										

両病院合計 医業収支

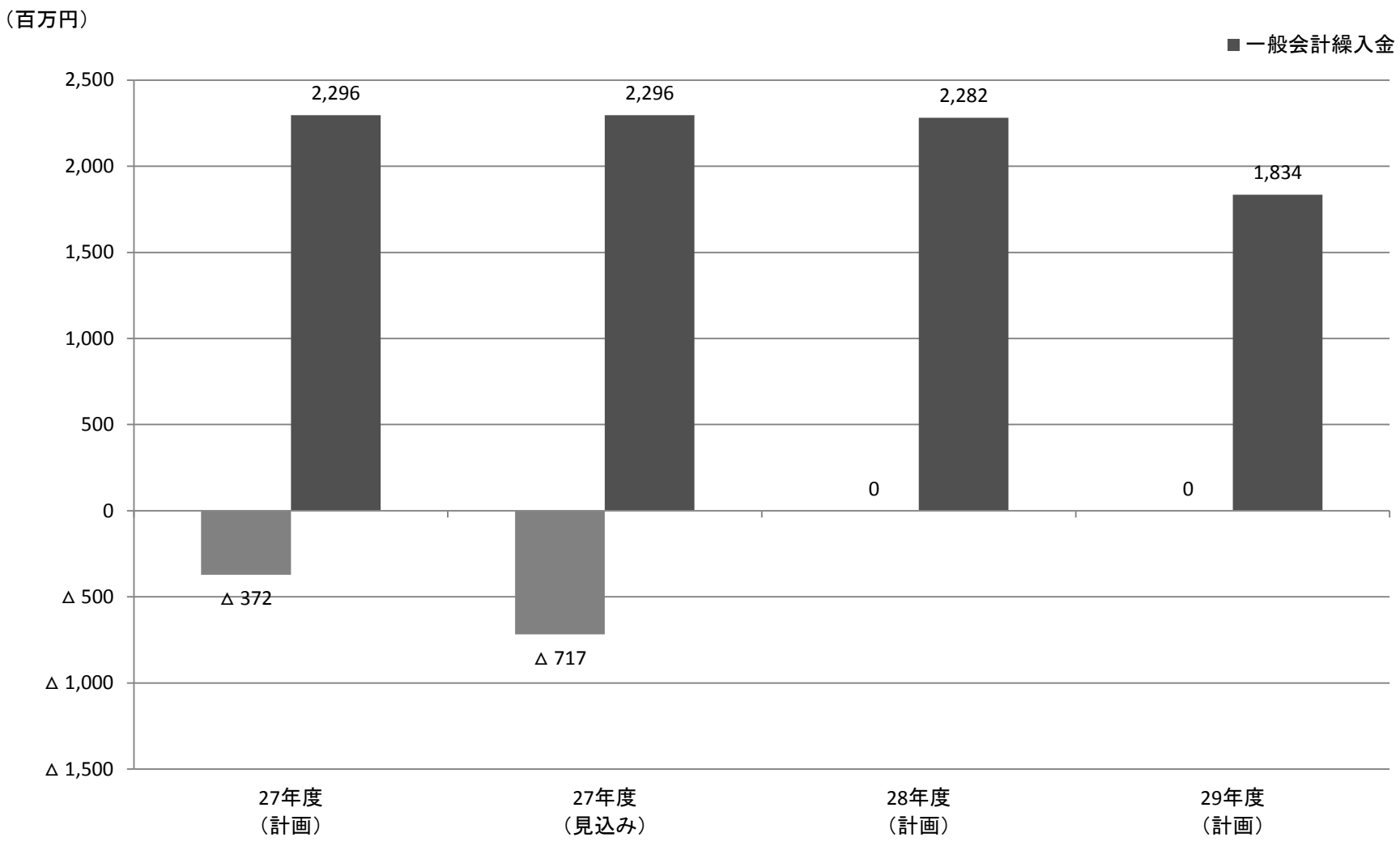


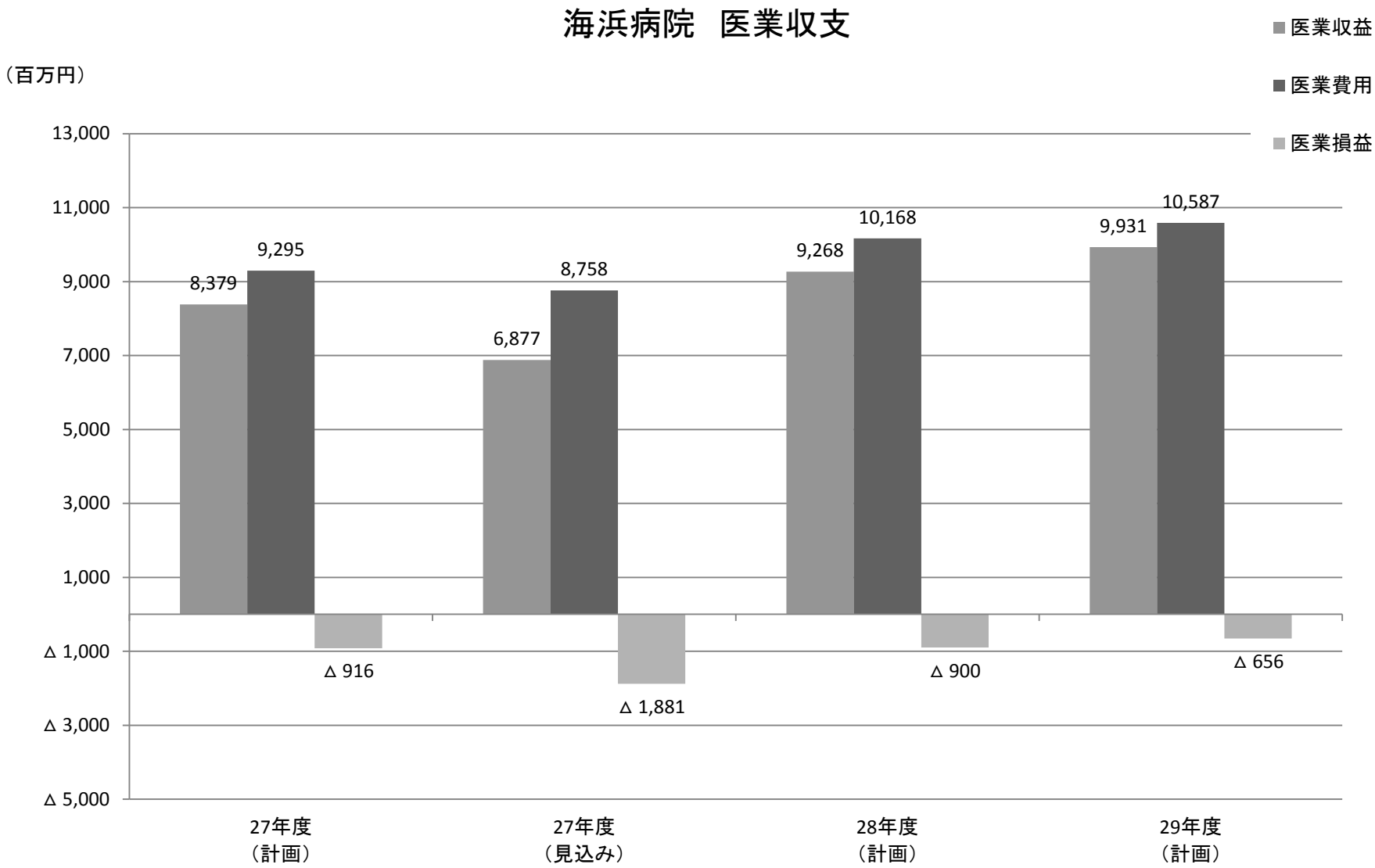
両病院合計 純利益・一般会計繰入金





青葉病院 純利益・一般会計繰入金





海浜病院 純利益・一般会計繰入金

